

「大東市企業紹介 ～株式会社ツルタ電機編」

第13回は、「グローバルな環境課題解決企業へ！」



大阪府大東市にある株式会社ツルタ電機：<https://tsurutasolution.com/>

1989年創業のツルタ電機は車載部品の検品から食品製造、コーティングから代理店事業まで幅広い事業を行っております。

今回は鶴田社長よりインタビューのお時間をいただき、事業の詳細と今後の展望についてお伺いいたしました！

製造業を中心に様々な事業形態！

元々ツルタ電機は携帯電話の組み立てが製造事業の始まりです。

そこから、携帯電話の製造が海外へ移ったことをきっかけに、自動車部品の検品、操作パネルや化粧品容器の組み立てや、食品添加物の製造、黒ニンニクの製造等、様々な形で変化し続けています。

下請け企業から地元ブランドの特産品を作り、地域に貢献したいという思いから、一つの事業に捉われず様々な事業に挑戦されています。

働く環境で地域貢献。働き方も様々！

常に意識されているのは「働きやすい環境づくり」です。

子育て世代が働きやすいようにフレックス制度を導入、60代以上のシニア世代は、
出社時間を決めないフリータイム制度を導入し、いつでも自由に働ける環境を整備しています。

また、引きこもりの方の社会復帰の場としても提供しており、この9年間で4人が社会復帰を果たされた
そうです。



感染対策事業と節電事業で社会の課題を解決！

シニア・ジュニア層をターゲットに感染対策事業の準備をされていた鶴田社長は、感染対策事業として SKYBE-783 というコーティング剤の施工事業を開始されました。2年間の効果継続と減価償却を実現するコーティングを実施し、15分間で90%の菌を死滅させる効果を持ち、コロナ禍の影響も重なり、保育園や幼稚園、高齢施設へ広く施工実施されました。



また感染対策事業を通して施設の方々から、経営状況的に利益を残すことができないという話をお聞きし、ご支援先の施設に何か利益を残す取り組みができないかと、試行錯誤し続けた時期がありました。結果、施設の電気代を削減する節電事業を興し、節電ガラスコートというコーティングの取り扱いを始めました。

このコーティングを実施することで電気を使わずに室内温度を保つことができ、効果は10年間持続。2年間で償却し8年間利益を産み続けられる投資として、官公庁や工場の建屋等、現在は幅広く展開されています。

まだまだ止まらない、グローバルな環境課題解決企業へ！

コーティングの課題としては、施工後 3 時間はコーティング独特の匂いが残ってしまうこと。

匂いの課題を解決するために無臭フィルムの取り扱いを開始。

この節電事業をきっかけに、アメリカ進出も果たしました。

アメリカでは近年温暖化の影響により外気温が上昇、快適な室内環境の維持のために、消費するエネルギーは大きな課題となっています。

飲食店やジム、アッパー層の邸宅等、様々な場所でこのフィルムが採用され、大きな事業展開が見込まれます。

今後拡大する事業に対応するべく、人材の採用を進めたいと意気込まれている鶴田社長。

まだまだ様々な環境課題解決事業を計画されている鶴田社長のこれからますますの発展に期待です！

